

平成29年度愛媛県自衛隊 入隊・入校激励会

平成30年3月8日、ひめぎんホールにおいて、防衛協力3団体（愛媛県防衛協会、愛媛県隊友会及び愛媛県自衛隊家族会）の主催する「平成29年度愛媛県自衛隊入隊・入校激励会」を開催しました。

当日は、天候に恵まれませんでした。激励会には入隊・入校予定者とそのご家族のほか、自治体首長、自衛隊の部長、協力団体の関係者や一般の入場者約350名が出席し盛大に行われました。

入隊・入校激励会は、2部構成で行われ、第1部では、入隊入校予定者1人1人をステージ画面に投影し紹介を行った後、主催者を代表し家族会の三好会長が挨拶を述べました。続いて県知事代理として副知事、四国地域の防衛等を担任する第14旅団長からご祝辞を頂きました。副知事からは「自衛隊は、国民の最後の砦であるという自覚と誇りを持ち、ますます期待の高まる自衛隊の一員として今後、訓練、任務、学業に精励されることを願っています。」（県知事ご祝辞代読）、第14旅団長からは、「ご自身の経験から得た「心を鍛える」、「いろいろな角度から物事をみる」ことにより、入隊入校予定者が今後、自衛隊の訓練、生活に何らかの壁にぶつかった場合、乗り越えるためのヒントを紹介されました。その後、愛媛地本に臨時勤務中であつた練習艦やまゆき所属の緒方海士長から激励の言葉が送られ、入隊入校予定者を代表して今治西高校を卒業し、防衛大学校入校予定の池田 馨君が力強く抱負を發表しました。

第2部では、第14特科隊（隊長 1等陸佐 内野 敏紀）から支援を受け、入隊入校後のおおまかな1日の流れが理解できるよう第14特科隊隊員が吹奏するラップとともに紹介し、続いて松山大学学生を中心としたストリートダンスサークルによる激励のダンスが披露されました。最後に第14音楽隊（隊長 1等陸尉 奥津 猛）が陸海空行進曲、千本桜等を演奏し、激励会を締めくくり、入隊入校予定者の門出を祝うことができました。

入隊・入校予定者全員が無事入隊・入校することをしっかり支援していくとともにご家族への支援も充実してまいります。

入隊・入校激励会には、入隊入校予定者とそのご家族のほか、自治体首長、自衛隊の部長、協力団体の関係者や一般の入場者約350名が出席し盛大に行われました。

入隊・入校激励会は、2部構成で行われ、第1部では、入隊入校予定者1人1人をステージ画面に投影し紹介を行った後、主催者を代表し家族会の三好会長が挨拶を述べました。続いて県知事代理として副知事、四国地域の防衛等を担任する第14旅団長からご祝辞を頂きました。副知事からは「自衛隊は、国民の最後の砦であるという自覚と誇りを持ち、ますます期待の高まる自衛隊の一員として今後、訓練、任務、学業に精励されることを願っています。」（県知事ご祝辞代読）、第14旅団長からは、「ご自身の経験から得た「心を鍛える」、「いろいろな角度から物事をみる」ことにより、入隊入校予定者が今後、自衛隊の訓練、生活に何らかの壁にぶつかった場合、乗り越えるためのヒントを紹介されました。その後、愛媛地本に臨時勤務中であつた練習艦やまゆき所属の緒方海士長から激励の言葉が送られ、入隊入校予定者を代表して今治西高校を卒業し、防衛大学校入校予定の池田 馨君が力強く抱負を發表しました。

平成30年2月13日、14日に海上自衛隊呉基地が実施した海上自衛隊試験艦「あすか」での生活体験を支援しました。

最初に、艦内で「あすか」に関する注意事項を受け「あすか」搭載の作業艇にて呉湾内のクルージングを楽しみました。

艦内に戻りカレーの体験喫食、艦内見学の後、ベッドメイクを行い、夜は艦長より出された使用される記号などに関する簡単な質問について考えるため乗員と話す機会が設けられました。

幹部候補生受験希望学生から幹部候補生学校での生活について熱心に質問があり、その学生は、ただ見学するだけではわからない事を体験でき、ますます海上自衛隊受験意欲が高まったと話していました。

参加者は、今回の生活体験で艦艇勤務の良さだけでなく厳しさも肌で感じる事ができ、海上自衛隊を理解し、入隊及び受験意欲の向上に繋がる充実した生活体験となった様子でした。

今後も艦艇での生活体験などに積極



中部方面航空隊（隊長 森 貴義1等陸佐）の支援を受け、平成30年1月27日小野演習場において愛媛県の募集対象者及び募集協力者等19人に対し、UH-1ヘリコプターによる体験搭乗を実施しました。

UH-1の前で記念撮影

空の散歩を終えた参加者からは、「思ったよりも全然揺れない乗り物なんです。」、「安心して乗れました。」等の感想があり終始和やかな雰囲気の中で体験搭乗は終了しました。

今後地域住民の方々から自衛隊を深く知ってもらうとともに、各部隊の協力を得て、さまざまな機会を捉えて募集・広報活動の基盤を拡充していけるよう邁進していきます。

（広報室 廣瀬）

平成30年2月4日から同6日の間、愛媛県議会防衛議員連盟の沖縄研修を支援しました。

研修には、防衛連会長以下議員16名及び県議会事務局から1名が参加し、陸上自衛隊第15旅団（以下「15旅団」という。）、海上自衛隊第5航空群（以下「5空群」という。）、航空自衛隊第9航空団（以下「9空団」という。）を研修しました。

本研修初日は、15旅団及び5空群を研修しました。15旅団では防衛・警戒任務、緊急患者空輸、不発弾処理等についてブリーフィングを受けた後、軽装甲機動車、87式偵察警戒車などの装備品の見学を行いました。5空群では、周辺海域の防衛・監視任務や遭難船舶捜索等の活動についてブリーフィングを受け、P-3C哨戒機を見学しながら、その性能や活動状況等の詳細について説明を受けました。

2日目は、9空団を研修し、近年、我が国の領空に接近する国籍不明機が増加傾向にある状況やそれに対する航空自衛隊の対応等についてブリーフィングを受け、防空任務にあたるF-15戦闘機の見学を行いました。

防衛連の方々には本研修を通じて、改めて部隊の即応性の高さや、自衛隊の重要性について理解を深めて頂きました。

これからも防衛省・自衛隊を身近に感じていただくとともに、自衛隊及び国防の重要性を少しでも理解していただけるように広報活動を展開していきたいと思えます。

（広報室 永野）



艦内見学

最初に、艦内で「あすか」に関する注意事項を受け「あすか」搭載の作業艇にて呉湾内のクルージングを楽しみました。

艦内に戻りカレーの体験喫食、艦内見学の後、ベッドメイクを行い、夜は艦長より出された使用される記号などに関する簡単な質問について考えるため乗員と話す機会が設けられました。

幹部候補生受験希望学生から幹部候補生学校での生活について熱心に質問があり、その学生は、ただ見学するだけではわからない事を体験でき、ますます海上自衛隊受験意欲が高まったと話していました。

参加者は、今回の生活体験で艦艇勤務の良さだけでなく厳しさも肌で感じる事ができ、海上自衛隊を理解し、入隊及び受験意欲の向上に繋がる充実した生活体験となった様子でした。

今後も艦艇での生活体験などに積極



装備品の見学

平成30年2月4日から同6日の間、愛媛県議会防衛議員連盟の沖縄研修を支援しました。

研修には、防衛連会長以下議員16名及び県議会事務局から1名が参加し、陸上自衛隊第15旅団（以下「15旅団」という。）、海上自衛隊第5航空群（以下「5空群」という。）、航空自衛隊第9航空団（以下「9空団」という。）を研修しました。

本研修初日は、15旅団及び5空群を研修しました。15旅団では防衛・警戒任務、緊急患者空輸、不発弾処理等についてブリーフィングを受けた後、軽装甲機動車、87式偵察警戒車などの装備品の見学を行いました。5空群では、周辺海域の防衛・監視任務や遭難船舶捜索等の活動についてブリーフィングを受け、P-3C哨戒機を見学しながら、その性能や活動状況等の詳細について説明を受けました。

2日目は、9空団を研修し、近年、我が国の領空に接近する国籍不明機が増加傾向にある状況やそれに対する航空自衛隊の対応等についてブリーフィングを受け、防空任務にあたるF-15戦闘機の見学を行いました。

防衛連の方々には本研修を通じて、改めて部隊の即応性の高さや、自衛隊の重要性について理解を深めて頂きました。

これからも防衛省・自衛隊を身近に感じていただくとともに、自衛隊及び国防の重要性を少しでも理解していただけるように広報活動を展開していきたいと思えます。

（広報室 永野）

平成30年2月4日から同6日の間、愛媛県議会防衛議員連盟の沖縄研修を支援しました。

研修には、防衛連会長以下議員16名及び県議会事務局から1名が参加し、陸上自衛隊第15旅団（以下「15旅団」という。）、海上自衛隊第5航空群（以下「5空群」という。）、航空自衛隊第9航空団（以下「9空団」という。）を研修しました。

本研修初日は、15旅団及び5空群を研修しました。15旅団では防衛・警戒任務、緊急患者空輸、不発弾処理等についてブリーフィングを受けた後、軽装甲機動車、87式偵察警戒車などの装備品の見学を行いました。5空群では、周辺海域の防衛・監視任務や遭難船舶捜索等の活動についてブリーフィングを受け、P-3C哨戒機を見学しながら、その性能や活動状況等の詳細について説明を受けました。

2日目は、9空団を研修し、近年、我が国の領空に接近する国籍不明機が増加傾向にある状況やそれに対する航空自衛隊の対応等についてブリーフィングを受け、防空任務にあたるF-15戦闘機の見学を行いました。

防衛連の方々には本研修を通じて、改めて部隊の即応性の高さや、自衛隊の重要性について理解を深めて頂きました。

これからも防衛省・自衛隊を身近に感じていただくとともに、自衛隊及び国防の重要性を少しでも理解していただけるように広報活動を展開していきたいと思えます。

（広報室 永野）

UH-1体験搭乗を実施

愛媛県議会防衛議員連盟の沖縄研修を支援

「3.11忘れない、つなぐ想い」

3月11日に坂の上の雲ミュージアムで開催された「第3回東日本大震災復興祈念コンサート」に参加しました。

このコンサートは、東日本大震災被災地復興祈念と南海トラフ大地震への心構えを共有することを目的に行われた音楽シンポジウムです。南海トラフ大地震に備える震災学習を実施している済美高等学校（愛媛県松山市）生徒による活動報告、同校と交流のある東陵高等学校（宮城県気仙沼市）生徒による震災後の現況発表に続き、愛媛地本長が自衛隊の行う災害派遣及び南海地震に対する備えについて講話を実施し、陸海空自衛隊が一丸となった東日本大震災での活動VTRを紹介しました。また愛媛地本広報室はコンサート会場において東日本大震災での第14旅団災害派遣活動記録ビデオの放映及び第14特科隊の活動写真等を展示し、災害における自衛隊の活動について広報を実施しました。コンサートでは東北地方の歌や踊り、済美高校合唱部による東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」が披露され、会場に集まった観客は被災地の復興を祈念するとともに、災害における自助・共助・公助、人とのつながりの大切さを共感しました。

今後も自衛隊に対する理解と親近感の醸成を図り、募集基盤の拡充のため、積極的にPRしていきます。



愛媛地本長による講話



転出

- 補給本部へ
 - 募集課長
 - 1等海佐 川上 哲也
- 北海道補給処近文台燃料支処へ
 - 大洲所長
 - 1等陸尉 山本 康雄
- 偵察教導隊へ
 - 今治所広報官
 - 陸曹長 石川 勝浩
- 松山駐屯地業務隊へ
 - 総務課車両主任
 - 1等陸曹 上田 隆 (以上3月23日付)
- 硫黄島管理隊へ
 - 募集課広報係
 - 2等海曹 中山 昌仁 (3月26日付)
- 幹部候補生学校へ
 - 募集課広報室長
 - 1等空尉 永野 祐幸 (3月31日付)
- 装備庁へ
 - 総務課長
 - 防衛事務官 内海 知明
- 岐阜地本へ
 - 援護課予備自衛官班長
 - 防衛事務官 久岡 泰好
- 徳島駐屯地業務隊へ
 - 総務課会計班長
 - 防衛事務官 田中 正博 (以上4月1日付)

転入

- 募集課長
 - 第1潜水隊群司令部から
 - 2等海佐 森脇 太
- 新居浜所長
 - 第10師団司令部から
 - 3等陸佐 森田 賢二

人事

- 大洲所長
 - 北海道補給処足寄弾薬支処から
 - 1等陸尉 長南 雄司
- 援護課予備自衛官主任
 - 松山駐屯地業務隊から
 - 陸曹長 井上 孝行
- 大洲所広報官
 - 第14特科隊から
 - 陸曹長 清家 康博
- 募集課 募集係
 - 松山駐屯地業務隊から
 - 1等陸曹 勝部 順子
- 松山所広報官
 - 第14特科隊から
 - 3等陸曹 門田 将典
- 新居浜所広報官
 - 特科教導隊から
 - 3等陸曹 野村 元生 (以上3月23日付)
- 募集課広報室長
 - 第6高射群21高射隊から
 - 2等空尉 原田 浩 (3月31日付)
- 松山所広報官
 - 西部航空方面隊司令部から
 - 空曹長 矢野 尚人
- 総務課長
 - 装備庁から
 - 防衛事務官 橋本 敦史
- 総務課会計班長
 - 宮崎地本から
 - 防衛事務官 高橋 博樹
- 援護課予備自衛官班長
 - 徳島地本から
 - 防衛事務官 安永 昭次 (以上4月1日付)

部内異動

- 総務課 総務係へ
 - 大洲所広報官
 - 空曹長 川口 洋一

ようこそ愛媛地本へ！



退職

- 今治所広報官へ
 - 宇和島所広報官
 - 1等陸曹 梶田 卓志
- 総務課車両主任へ
 - 松山所広報官
 - 2等陸曹 大野 誠司
- 宇和島所広報官へ
 - 新居浜所広報官
 - 2等陸曹 高橋 智徳
- 援護課即応予備自衛官係へ
 - 総務課総務係
 - 2等陸曹 松田 裕二
- 大洲所広報官へ
 - 援護課予備自衛官係
 - 3等陸曹 瀧岡 晃治 (以上3月23日付)

新規採用

- 募集課
 - 期間業務隊員 明川 祥子 (3月31日付)
- 援護課
 - 期間業務隊員 中村 いずみ (以上4月1日付)



募集情報

イベント情報

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	時期	行事名	場所	
幹部候補生	一般	22歳以上26歳未満の者。(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	3月1日 ～ 5月1日	5月12, 13日	4月22日(日)	第14旅団創設12周年 善通寺駐屯地開設68周年記念行事	善通寺駐屯地
	歯科 薬剤科	専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満の者。薬剤は20歳以上28歳未満		5月12日	4月29日(日)	東温市産業まつり	東温市重信川河川敷
医科・歯科幹部	医師・歯科医師の免許取得者	2月1日 ～ 4月20日	5月11日	4月29日(日)	西条市産業文化フェスティバル	西条市	
技術海上幹部 技術航空幹部	大卒以上の者で、応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者	4月20日 ～ 5月25日	6月25日	5月5日(土)	第10回「伊予國こどもまつり」	ウェルピア伊予 いこいの広場	
技術海曹 技術空曹	20歳以上の者で国家免許資格取得者等		6月22日	5月13日(日)	看護の日	徳州会病院	
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	3月1日 ～ 5月1日	5月26日	5月27日(日)	ぎゅぎゅつと愛南	愛南漁業協同組合 御荘支所	
自衛官候補生	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて行っております。	5月19日 6月24日	5月27日(日)	松山駐屯地創立63周年記念行事	松山駐屯地	
				6月10日(日)	ふれ愛コンサートin西条	西条市総合文化会館	